

聴覚障がい者が安心・安全に暮らせるまちづくりを



荒木 洋美 議員

障がいのある人もない人も、誰もが人格と個性を尊重したい、ともに生きることができ、社会の実現が求められています。

しかし、実際には障がいのある方が不便だと感じる事や困る事は少しの工夫や配慮で変えられることもあります。市や事業所、地域の人たちみんなが一緒に考え、意見を出し合い、安心できるまちづくりを実現していかなければなりません。

こうした障がいの者のコミュニケーションの権利を実現するためには、手話を言語として認め、障がいのある人のコミュニケーションを促進する条例「手話言語条例」と「障がい者に対する配慮を促進する条例」が必要と考えますが、市の考えを伺います。

○福祉部長

聴覚に障がいのある方だけでなく、障がいのある方も

い方も、地域の中で共生できるように、関係部署と連携を図り、民間事業者あるいは市民の皆さまに対しても、障がいへの理解を促進するための普及啓発に、しっかりと取り組んでまいりたいと考えています。

○市長

障害者基本法において、手話が言語であると定義され、法制定を求めると動きが全国的に広まっており、動向を注視してまいります。

このほか

○すべての赤ちゃんに聴覚検査を



手話によるコミュニケーション (イメージ)

公園の砂場の適正な衛生管理を



今尾 安徳 議員

砂場の汚染で一番心配されているのは、犬・猫の排泄物に含まれる回虫の卵だそうです。東京都内の56カ所の公園に対して行われた回虫卵調査では、約半分の公園から人間にも感染する成熟卵が見つかっているそうです。

また、ある大学教授の研究チームが過去に行った調査では、兵庫県下の3カ所の公園の砂場にビデオカメラを設置して、犬や猫の24時間の排便行動を約6カ月にわたって観察したところ、記録された動物は犬が6頭、猫は961頭で、砂場のふん便汚染の原因は、主に猫であることが明らかとなりました。さらに、観察された猫のうち、その約90パーセントは18時から翌朝の6時にかけて観測されたもので、汚染は夜間に生じていることも明らかとなっています。こうしたことから、夜間にネットなどで砂場を覆うなど

の対策が最も有効なのではないかと思えます。

そこで、既存の砂場へのネットの設置について、市の考えを伺います。

○建設部長

砂場へのネットの設置につきましては、これまでも地域から要望をいただいた際には設置をおこなっているところ

です。今後についても、要望や必要に応じて、予算の範囲内で対応していきたいと考えています。

このほか

○緊急対策踏切の早期解決を

トイレのこと、小学1年生と市政



水沼日出夫 議員

近年の小学校校舎においては、耐震補強工事、全ての普通教室にエアコン整備と子どもたちの教育環境の向上を最優先に、厳しい目標を高度に達成してまいりました。

その功績とは裏腹に、多くの校舎トイレにあっては、老朽化が進み、施設ごとの洋式

化、修繕対応、および臭い対策の下での十分な環境整備は難しい状況です。それでも、毎年上がってくる1年生のトイレでの戸惑いは、できるだけ軽くするべきと考えます。

そこで、校舎トイレの利用環境を維持している実際の取り組みの状況をお伺いします。併せて、これからの維持、改修方針もお伺いします。

○学校教育部長

利用環境については、学校施設カルテを運用し、学校からの修繕要望箇所や法定点検における修繕必要箇所などの情報、修繕の対応状況を記録しています。情報の一元化を図り、学校と教育委員会の情報共有化と計画的な維持補修などを探る基礎としており、校舎のトイレも、修繕などの機会を捉え、順次洋式トイレに改修を行ってまいりました。

今後は、各施設の劣化状況を把握するための現地調査を実施します。校舎トイレを含めた学校施設の改修方針や整備水準については、現地調査の結果を踏まえ、長寿命化計画を策定する中で検討します。

このほか

○公園灯や自治会が管理している街灯のLED化について

春日部市の防災対策について



武 幹也
議員

熊本地震災発災後、隣接する
菊池市では防災情報に関し、
安心安全メールや防災行政無
線などから情報を入手し、隣
近所に伝達して避難所に集ま
った市民が多いとの市民アン
ケートがまとめられました。
このような防災情報の周知・
伝達の現状について、市の所
見を伺います。なお、平成28
年度から始まった避難所開設
運営訓練の成果も伺います。
また、平成27年9月の関
東・東北豪雨では、常総市な
どにおいて、河川氾濫による
大きな被害を受けました。氾
濫の危険性が高くなる段階で
避難体制をとるよう時系列的
に並べた、いわゆるタイムラ
インの策定状況を伺います。
○市長公室長

難所で起こるさまざまな出来
事に対応する模擬体験訓練を
実施し、参加者から実践的で
大変有意義な訓練だったと
ご意見をいただいています。
タイムラインは、災害発生
時の状況を予め想定し、防災
行動とその実施主体を時系列
で整理した計画です。江戸川
河川事務所の助言のもと現在
作成中であり、洪水時の災害
対応力向上を図っていきます。
このほか
○今後の市立医療センターに
ついて
○春日部市における選挙およ
び投票について

より便利で住みやすい 春日部を目指して



石川 友和
議員

境は拡充されつつあるものの、
春日部駅の改札から一歩外に
出てみると、まだ利用しにく
い環境となっております。特に
春日部駅西口においては、改
札からタクシー乗り場も遠く、
また、バス乗り場に関しても
それぞれ別の場所から発着を
行っていますが、現状に対し
て市はどのように考えている
のか伺います。
○都市整備部長
駅前広場は、公共交通の結
節点での役割を有することか
ら、利用しやすい環境に整備
する必要がありますが、西口
駅前広場は、公共交通の配置
場所が整備されてなく、利便
性に課題があることや時間帯
によってロータリー内が非常
に混雑し、タクシーの乗降場
所も設置場所が限られ、場所
の移転が難しいことなど、構
造的に大きな課題があります。
今後は連続立体交差事業と
連携を図りながら、立地適正
化計画による中心市街地の魅
力あるまちづくりの向上に向
け、公共交通の結節点が十分
に発揮できる駅前広場を検討
していきたいと考えています。
このほか
○ふるさとかすかべ応援寄付
金（ふるさと納税）について

ボランティアポイント 制度について



海老原光男
議員

人口減少、少子・高齢化が
進み、ますます必要とされる
ボランティア活動に参加する
方々も減少していくと考えら
れます。併せて、行政の財源
も減少し、行政サービスの低
下も危惧されていることから
ボランティア活動に興味を持
ち、参加していただくことが
重要であると考えます。
平成27年6月定例会で、ボ
ランティア活動を始めるきつ
かけとして「ボランティアポ
イント制度」の導入を要望さ
せていただきましたが、その
ときの答弁では対価目的と思
われてしまうことに抵抗を感
じ、気持ちを削いでしまう参
加者がいることから、気持ち
よく活動できるよう配慮しな
ければならない等の課題があ
り、制度の実施については、
慎重に見極めていく必要があ
るとのことでした。

○市民生活部長
ボランティア活動を推進し
ていくにはボランティアポイ
ント制度の導入も1つの方法
であると認識していますが、
既に当制度を導入している市
に現況を伺ったところ、制度
を継続する中で運用における
さまざまな課題があることが
分かってきました。
そのため、導入については、
現況や課題、ニーズに合った
方法を精査し、検討する必要
があると考えています。
このほか
○災害の対応について



ボランティアによる清掃の様子

市民を守るER型救急を！



岩谷 一弘
議員

市立医療センターが完成し、市民の救急医療への期待は、非常に高まっています。現在の救急の受け入れ状況はどうなっているのでしょうか。

また、今後も需要の高まりが想定される救急医療については、新改革プランでも触れられているER型救急が絶対に必要だと思えますが、導入した場合の受け入れ想定件数と、導入の見込みを伺います。

○病院事務部長
救急の受け入れ状況につきまして、当センターに救急要請があり、そのうち受け入れた率の過去3カ年の実績として、平成25年度は54・8パーセント、平成26年度は61・2パーセント、平成27年度は58・8パーセントです。

また、春日部消防本部の搬送件数全体から見た当センターの受け入れ率は、平成25年度は27・9パーセント、平成26年度は30・2パーセント、

平成27年度は27・5パーセントとなつています。

ER型救急を導入した場合の受け入れ件数につきまして、導入当初は年間300件の増、その後年々増加を図り、5年後には、各科相乗り型と比べまして、年間で千件の増を見込んでいます。

○病院事業管理者

今後につきましては、来年度中のERの専門医確保を目指し、できるだけ早い時期に導入できればと考えています。

○新庁舎建設コストについて
このほか



市立医療センター救急車搬送口

基金の再編について



矢島 章好
議員

昨年の12月2日の新聞報道では、川越市はインフラの老朽化に備えて基金の再編等に着手することに関する記事が掲載されていきました。当面、取り崩しの予定がない部分については債券など有価証券での運用を検討し、日銀のマイナス金利政策の影響で預金の金利は低水準が続く中で少しでも利回りを確保するというところであります。このように積極的な基金の効率的な運用により運用益を上げ、市民に還元していくことは大変重要な取り組みであると思えます。

そこで、本市における基金の活用状況について、また、再編・運用枠については拡大をすべきと考えますが市の考えを伺います。

○財務部長

本市の一般会計における基金は、財政調整基金をはじめとして8つの基金があり、平成28年度末の合計残高は約1

09億1594万円となる見込みです。

基金の再編については、基金の適切な活用が図られているところであり、再編の必要性が生じた際には検討していきたいと考えています。また、運用枠の拡大については、今後の金融市場の動向や政府・日本銀行の経済金融政策等を注視しながら、慎重に見極めていきたいと考えています。

○このほか
○幼児教育アドバイザーについて
○庁舎内掲示板等の活用について

市長の平成29年度
施政方針について



栄 寛美
議員

今定例会の冒頭に市長が述べられた「平成29年度施政方針」の中から都市基盤分野について以下伺います。

①計画的な土地利用の推進について、都市計画マスタープランでは合併後どのように推進が図られてきたのか。また、北春日部駅周辺梅田

地域はどのような取り組み状況で進むのか。

②一ノ割駅の西口開設、駅周辺の利便性の向上についてはこれまででも議会でも取り上げてきたが、駅前広場が完成し、今後市としてはこのエリアに対してどのような考えを持って取り組むのか。

○都市整備部長

①現行の都市計画マスタープランでは、土地利用の施策として、庄和インター周辺における新たな産業拠点づくりの推進や長期未着手土地区画整理事業において見直しの検討の実施などを行いました。

また、北春日部駅周辺梅田地区では、土地区画整理事業を行い、市街化区域への編入を検討しています。

②一ノ割駅周辺には家屋等が密集しているため、東西駅前広場の整備やそれに合わせた駅舎の改修、アクセス道路としての都市計画道路一ノ割通り線の整備等を総合的に行うことが駅周辺の課題を抜本的に解決するものと考えており、今後、関係機関と協議し、他の事業の進捗状況や駅周辺の社会環境の変化を見極めながら基盤整備を進めていきたいと考えています。

閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会
2月14日
・平成28年度請願第5号について
- ▽議会運営委員会
2月14日
・平成29年3月定例会の運営について
- ▽地域活性化対策検討特別委員会
1月31日
・最終報告書(案)について
- ▽議会改革検討特別委員会
2月14日
・議員定数について
- ・市民へ市議会を周知する取り組みについて
- ▽広報広聴委員会
2月14日
・今後の議会報告会について
- 3月22日
・議会だより第47号の発行について
- ・今後の議会報告会について
- ・視察結果報告書について
- 4月4日
・議会だより第47号の発行について
- ・視察結果報告書について
- ▽図書室運営委員会
4月4日

- ・平成28年度図書費決算について
- ・平成29年度図書費予算(案)について

今定例会傍聴状況		月日	傍聴者数	主な日程
2/20	3		上程・説明	
23	4		質疑	
24	2		質疑	
27	2		質疑	
28	0		質疑	
3/2	0		委員会	
7	24		一般質問	
8	25		一般質問	
10	24		一般質問	
13	50		一般質問	
14	15		一般質問	
16	2		討論・採決	
合計	160			

傍聴して一言

初めて議会を傍聴したが、話が早くて理解できない場面が多々あった。もう少し手元に資料が欲しかった。

男性・19歳

読書に力を入れていたが、本でいろいろな事を知ることが、重要だと思えます。

女性・67歳

議会を初めて傍聴させていただきましたが、議員の真剣な質問に身の引き締まる思いでした。機会があれば、また傍聴したいと思えます。

男性・68歳

救急医療について聴かせてもらい、今までになく分かりやすく、納得ができました。これから救急体制が良くなるので、私たち高齢者には安心できます。新しい医療センターをうまく活用できるように、ますますの努力をお願いしたいです。

女性・73歳

※割愛させていただいた部分もあります。

今定例会の日程

- 2月20日
○市長の平成29年度施政方針の説明
- 議案第1号から議案第44号までの上程・説明
- 諮問第1号から諮問第3号までの上程・説明・質疑・討論・採決
- 2月23・24・27・28日
○議案に対する質疑
- 3月2・3日
○常任委員会
- 3月7・8・10・13・14日
○一般質問
- 3月16日
○常任委員長報告とそれに対する質疑
- 各議案および請願に対する討論・採決
- 議案第1号議案および議案第2号議案の上程・説明・質疑・討論・採決
- 議会改革検討特別委員長中間報告とそれに対する質疑
- 地域活性化対策検討特別委員長報告とそれに対する質疑・討論・採決

編集後記

風薫る新緑の季節、皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

3月定例会では、平成29年度の当初予算や市役所の位置を定める条例の一部改正などが上程され、本市の将来を見据えながら、我々議員は市民の代表として、さまざまな立場から、慎重審議を重ねてまいりました。

今後も、市政の発展と住民福祉の増進に向けて、全力で取り組んでまいります。

広報広聴委員会

- 委員長 矢島 章好
- 副委員長 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 齊藤 義則
- 委員 大野とし子
- 委員 古沢 耕作
- 委員 木村 圭一
- 委員 蛭間 靖造

オプザーバー
議長 会田 幸一
副議長 栗原 信司

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)
内線3116
再生紙を使用しています。

次の定例会は
5月26日(金)
開会予定です